

2024 年度

事 業 報 告 書

一般社団法人 日本産業機械工業会

目 次

I	部会関係	1
1.	ボイラ・原動機部会	1
2.	鉾山機械部会	2
3.	化学機械部会	3
4.	環境装置部会	3
5.	タンク部会	11
6.	プラスチック機械部会	12
7.	風水力機械部会	13
8.	運搬機械部会	15
9.	動力伝導装置部会	17
10.	製鉄機械部会	17
11.	業務用洗濯機部会	18
12.	エンジニアリング部会	19
II	委員会関係	20
1.	政策委員会	20
2.	労務委員会	21
3.	貿易委員会	22
4.	編集広報委員会	23
5.	産業機械工業規格等調査委員会	24
6.	産業機械工業功績者表彰選考委員会	25
7.	環境委員会	25
III	関西支部関係	26
IV	共通基盤事業関係	31
V	共通基盤活動関係	35

I 部会関係

1. ボイラ・原動機部会

(1) 役員改選

2024年6月12日の部会総会において、次のとおり選任した。

部 会 長：高橋 祐二 三浦工業株式会社 相談役（再任）

副 部 会 長：大江 克明 株式会社日本サーモエナジー
取締役 汎用事業本部長（新任）

幹 事 長：小野 巧 三浦工業株式会社
執行役員 BP事業推進ブロック ブロック長（再任）

技術委員長：上野 雅弘 株式会社よしみね
技術部 部長 兼 開発研究課 課長（新任）

(2) 統計調査の実施

ボイラの機種別、容量別の受注台数の統計調査を行い、産業動向の調査を行った。

(3) エネルギー、環境関連の情報収集及び普及活動の推進

ア. 2024年7月10日に次の通り勉強会を開催した。

テーマ：カーボンニュートラルに向けた日本の戦略とアンモニアの役割

講 師：村木 茂 殿 一般社団法人クリーン燃料アンモニア協会 会長

イ. これまでCO₂削減対策として調査したCO₂回収やアンモニア混焼、液体水素燃焼などの技術や装置の内容の取りまとめを行った。

ウ. 経済産業省の省エネルギー投資促進支援事業補助金、一般社団法人低炭素投資促進機構の低炭素設備リース信用保険、一般社団法人環境金融支援機構のESGリース促進事業、中小企業庁の中小企業等経営力強化法、環境省のLD-Tech認証制度など、最新の事業概要及び適合製品登録に関する情報提供を行った。

(4) 施設調査の実施

ア. 東西合同会議の行事として、2024年9月19日～23日、アラブ首長国連邦(Dubai、Abu Dhabi)を訪問した。JETRO・ドバイ事務所にてエネルギービジネスの現況、将来動向などの説明を受け、意見交換を実施した。KANADEVIA INOVA社が建設した世界最大級のWARSAN廃棄物処理発電プラントを見学した。その他、歴史・文化・宗教などを通じて同地域における知見を深める海外視察を行った。

イ. 2024年10月31日に佐賀市清掃工場を訪問し、ごみ処理施設、CO₂分離回収設備などの視察を行った。

(5) 部会間の交流

2025年2月18日、部会の活動及び各社の事業の参考となることを目的にタンク部会/ボイラ・原動機部会 合同情報交換会を開催した。

(6) 女性職員間の交流促進の検討及び活動

女性交流会を開催し、女性メンバー間の交流促進を図ると共に、メンバーの知識向上につながる検討及び活動を行った。

ア. 2024年5月29日、2025年2月20日に女性交流会を開催した。

イ. 2024 年 11 月 7 日に東京ガス株式会社が主催するワークライフバランスの実現や、SDGs への取り組みとしてのフードロス等を目的とした料理教室に参加した。

(7) 関係行政機関及び関連団体等への協力

国際標準化機構規格に関し、関係行政機関及び関連団体等の専門委員会等に委員を派遣し、関連業界の意見のとりまとめ等に協力した。

ア. ISO/TC161 (ガス及び/又は油用制御器及び防護装置) 国内対策委員会及び WG

イ. ISO/TC109 (オイル及びガスバーナー) 国内対策委員会

2. 鉾山機械部会

(1) 役員改選

2024 年 7 月 18 日の部会総会において、次のとおり選任した。

部 会 長：伊藤 春彦 株式会社東亜利根ボーリング 相談役 (再任)

副部会長：矢野 信彦 株式会社氣工社 代表取締役社長 (再任)

(2) 統計調査の実施と分析

関連機械に関する統計調査を行い、産業動向を分析把握した。

(3) 機械安全の推進

「ボーリングポンプ・グラウトポンプ」、「マッドミキサ・グラウトミキサ」に関する「安全マニュアル」の改訂版を作成した。

(4) 関連情報収集等調査の実施

国内外の市場動向等について情報収集等を行った。

(5) 講演会及び研修会等の実施

ア. 講演会 2024 年 7 月 18 日

演 題：「社会インフラに向けた日立の AI 技術と適用事例のご紹介」

講 師：影広 達彦 殿 株式会社日立製作所 研究開発グループ

先端 AI イノベーションセンタ 主管研究長

イ. 研修会

a. 2024 年 5 月 30 日

北海道札幌市「北海道大学 大学院工学研究院工学系技術センター」を訪問し、VR シアター (鉾山の現場体験等) の見学をした。

b. 2024 年 10 月 1 日

群馬県吾妻郡「ハッ場ダム」を訪問し、ダム完成にいたるまでの工事の様 (パネルと映像)、ダム堤体上の見学をした。

c. 2024 年 10 月 24 日

兵庫県神戸市「キューピー株式会社 神戸工場」を訪問し、概要説明後、マヨネーズの製造ライン (割卵機等) の見学をした。

d. 2025 年 2 月 13 日

神奈川県厚木市「神奈川県総合防災センター」を訪問し、概要説明後、地震、強風体験を行うなど、防災に関する施設の見学をした。

(6) 関係行政機関及び関連団体等との交流

経済産業省及び一般財団法人日本規格協会等との交流を行った。

3. 化学機械部会

(1) 調査研究の実施

- ア. 化学機械分野における環境対応、省エネルギー技術、安全性について情報の収集を行い、問題点を共有し、その解決に向けた検討を行った。
- イ. 化学製品製造分野で最近注目されている、航空燃料（SAF）の製造に必要なバイオエタノールの国内製造技術について調査を開始した。

(2) 講演会の実施

2024年10月18日に次のとおり開催した。

テーマ：水素法の概要や価格差支援の制度などについて

講師：森下 真成 殿 経済産業省 資源エネルギー庁 水素・アンモニア課
課長代理

(3) 若手社員向け基礎講座の開催

2025年2月25日に次のとおり開催した。

講演1：ICリアクター（嫌気性排水処理装置）など水処理装置について

講師：後藤 聖 殿 株式会社IHIプラント

事業推進統括部 営業部 国内営業グループ 主幹

講演2：攪拌操作と高速攪拌機について

講師：春藤 晃人 殿 ブライミクス株式会社

技術本部 乳化分散技術研究所 所長

(4) 施設調査の実施

- ア. 2024年11月7日に兵神装備株式会社の滋賀事業所を訪問し、モノポンプ等の製造工程を視察した。
- イ. 2024年12月2日に株式会社IHI横浜工場を訪問し、化学機械製造における非接触検査・計測技術の最先端技術についての勉強会及び同工場見学を行った。

(5) 海外施設調査の実施

2024年10月2日～4日に台湾へ調査団を派遣し、KAVALAN 蒸留所のウイスキー生産工程（発酵・蒸留・ろ過・分離工程など）、TSMC 台積創新館（半導体）を視察した。液晶・半導体製造産業、化学素材製造産業などの発展が最近著しい、台湾（台北市、東北部）での施設見学を行うと共に、歴史・食文化などを通じて、改めて当該地域の知見を広めることできた。

4. 環境装置部会

(1) 統計調査の実施と分析

環境装置産業の装置別生産・輸出実績に関する調査を実施し、国内外の関係先に広く配布し参考に供した。また、初めて二酸化炭素分離・回収・利活用装置の実績を取りまとめた。

(2) 環境関連技術等に関する調査研究の実施

ア. 環境装置産業の事業展開に関する調査研究

環境装置産業としてのビジネスチャンス拡大に向け、地域の自立・自律や活性化を指向した取組における環境装置産業の今後の在り方を取りまとめるため、事例調査

を踏まえ選定した地方自治体に関する基礎情報の収集及び地域課題の整理を行い、環境装置産業の製品や事業メニューをもとに、社会インフラ維持等の地域課題解決への適用を検討し、中間報告を取りまとめた。

イ．新環境ビジネスの創出に関する調査研究

新たな環境ビジネスに関する考察及び講演会等を行った。

a．今後成長が期待される分野に関する調査研究

焼却施設の高機能化（バイオガス施設併設による都市ガス原料供給、自動燃焼制御を搭載した焼却炉）、CO₂分離回収・利活用、系統用蓄電池ビジネス、蓄熱発電技術、ペロブスカイト太陽電池の主原料であるヨウ素製造工程及び市場動向に関する情報収集を行った。また、会員企業の有望と思われる分野への取組みについて紹介を行った。

b．新たな水環境ビジネスに関する調査研究

下水汚泥の肥料化・リン回収への取組み動向、公民連携による持続可能な水道経営、漁業・農業との連携・協働による下水道資源の活用、陸上養殖、PFASに関する政策動向、世界水ビジネス動向に関する情報収集を行った。また、関連分野の理解深耕、気づきを得ること等を目的に、会員企業で意見交換を行った。

c．地域資源エネルギーの利活用に関する調査研究

地域の間伐材等未利用材を利用した木質バイオマス発電、苫小牧地域におけるCCUS等カーボンニュートラルへの取組事例、CO₂分離回収・利活用技術、都市ガスのカーボンニュートラル化に向けた政策動向について情報収集を行い、会員企業で意見交換を行った。

d．先端技術に関する調査研究

2050年頃に社会実装が見込まれる、最先端の研究開発技術の調査を行うと共に研究機関等で予測されている未来の絵姿及び将来を考えるための思考法・プロセスについて幅広く情報収集を行った。

e．デジタル・AIに関する調査研究

環境装置メーカーがデジタルトランスフォーメーション（DX）に取り組むにあたり抱える課題について意見交換を行った。また、生成AIやロボットの活用事例及び各産業界におけるDXの取組事例、ITベンダー・SIer等の製品・サービス等について情報収集を行った。

f．セミナー、講演会、施設調査等の実施

① 新たな環境ビジネス創出に関する講演会

2024年4月23日

テーマ：都市ガスのカーボンニュートラル化に向けた取組

講師：松崎 智一 殿 経済産業省 資源エネルギー庁

電力・ガス事業部 ガス市場整備室 室長補佐

2024年4月25日

テーマ：公民でつくる持続可能な未来

みやぎ型管理運営方式でのみずむすびの挑戦

講師：守屋 由介 殿 株式会社みずむすびマネジメントみやぎ

経営管理部 部長

2024年5月16日

テーマ：矢巾町におけるフューチャー・デザインの導入と成果

講師：吉岡 律司 殿 矢巾町 政策推進監兼未来戦略課長

2024年5月28日

テーマ：エア・ウォーター㈱における脱炭素ソリューション

(CO₂分離回収・利活用)

講師：貝川 貴紀 殿 エア・ウォーター株式会社

グローバル&エンジニアリンググループ
プラント・機器開発センター
プロセス開発グループリーダー

2024 年 5 月 31 日

テーマ：クラウドの最新トレンドと NTT データの
クラウドソリューション FY24

講 師：小西 貴大 殿 株式会社 NTT データ
データセンター&クラウドサービス事業部
セールス&コンサルティング統括部 課長代理
並木 正人 殿 株式会社 NTT データ
データセンター&クラウドサービス事業部
営業推進課長代理

2024 年 6 月 25 日

テーマ：人口減少時代の水道料金はどうか？（2024 年版）

講 師：石橋 幸登 殿 EY 新日本有限責任監査法人
西日本 FAAS グループ シニアマネージャー

2024 年 6 月 25 日

テーマ：資源循環業界におけるサーキュラーエコノミーの実装に向けて

講 師：栗栖 雅宜 殿 環境省 環境再生・資源循環局
廃棄物規制課 課長補佐
(資源循環交流会との共催)

2024 年 6 月 26 日

テーマ:Gold From Waste :Story of ESS (Energy Storage System) Business

講 師：ベヘラネゲラド マハディ 殿 パシフィコ・エナジー株式会社
蓄電池事業開発部門長

2024 年 7 月 24 日

テーマ：有機フッ素化合物（PFAS）に関する環境省の取組

講 師：宮本 有樹 殿 環境省 水・大気環境局 環境管理課
有機フッ素化合物対策室 主査

2024 年 8 月 1 日

テーマ：合成メタン、水素、アンモニアの技術動向と評価、将来展望

講 師：熊谷 直和 殿 CCR 研究会 名誉会員

2024 年 8 月 5 日

テーマ：ネイチャーポジティブへの取組みによる企業価値向上に向けて

講 師：島田 佳織 殿 株式会社三菱総合研究所
エネルギー・サステナビリティ事業本部

2024 年 8 月 8 日

テーマ：カーボンマネジメントにおける CCS/CCUS 技術の現状と課題

講 師：中垣 隆雄 殿 早稲田大学理工学術院 創造理工学部
総合機械工学科 教授

2024 年 9 月 5 日

テーマ：IHI における CO₂ の燃料化及び化学原料化による
カーボンリサイクルの取組み

講 師：鎌田 博之 殿 株式会社 IHI 技術開発本部 技監

2024 年 9 月 13 日

テーマ：持続可能な宇宙環境の実現を目指して

講 師：吉田 晃 殿 株式会社アストロスケール
Vice President, Marketing & Communications

2024年9月17日

テーマ：埼玉県における下水汚泥の肥料利用に向けた取組等について

講師：水橋 正典 殿 埼玉県 下水道局 下水道事業課 課長

2024年9月17日

テーマ：ロボット技術最前線

講師：羽田 卓生 殿 u g o株式会社 取締役 CSO

2024年10月16日

テーマ：未来洞察 未来における機会を探索する手法

講師：小島 一浩 殿 国立研究開発法人産業技術総合研究所
デザインスクール事務局 事務局長 兼
人間拡張研究センター 主任研究員

2024年10月17日

テーマ：CO₂分離回収のコスト計算・経済性評価

講師：小玉 聡 殿 東京科学大学 物質理工学院 応用化学系 助教

2024年11月1日

テーマ：DX ソリューションのご紹介

～DX 統合パッケージを基盤とした展開について～

講師：藤本 夢二 殿 株式会社大塚商会 業種 SI プロモーション部
部長

2024年11月8日

テーマ：再生可能エネルギーの導入拡大を実現する蓄熱発電

講師：岡崎 徹 殿 一般財団法人 エネルギー総合工学研究所
プロジェクト試験研究部
新エネルギーグループ 主管研究員

2024年11月29日

テーマ：熊本市下水道事業における漁業・農業との連携・協業による
下水道資源の活用～40年に及ぶ地域との信頼関係の構築～

講師：藤本 仁 殿 熊本市上下水道局計画整備部 部長

2024年12月10日

テーマ：「やまぐちコンビナート低炭素化構想」について

講師：勢登 俊明 殿 山口県産業労働部 産業脱炭素化推進室 主査

2024年12月18日

テーマ：電気運搬船事業の現状と今後について

講師：佐藤 直紀 殿 株式会社パワーエックス
船舶・風力発電事業部 事業部長 兼
株式会社海上パワーグリッド 取締役

2025年1月14日

テーマ：AWS の生成 AI

講師：近藤 祐丞 殿 アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社
サービス&テクノロジー事業統括本部
Data&AI ビジネス本部 AI/ML 事業部
事業開発マネージャー
山本 直志 殿 アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社
自動車・製造事業開発本部
インダストリースペシャリストソリューション
アーキテクト

2025年1月21日

テーマ：世界水ビジネスの動きとビジネスチャンス

- 講 師：吉村 和就 殿 グローバルウォータ・ジャパン 代表
2025 年 1 月 30 日
テーマ：DACCS (Direct Air Capture with Carbon Storage) の
技術開発動向と展望
講 師：山田 秀尚 殿 金沢大学 先端科学・社会共創推進機構 教授
2025 年 1 月 31 日
テーマ：人を幸せにするロボットとは？その最前線を追う
講 師：富田 直美 殿 株式会社 hapi-robo st 代表取締役社長
2025 年 2 月 14 日
テーマ：バイオマスを活用した地域資源及び経済循環への取組
講 師：山崎早百合 殿 シン・エナジー株式会社 資源循環部
バイオガス課 主任
2025 年 3 月 14 日
テーマ：未来を発明する SF 思考
講 師：宮本 道人 殿 北海道大学 特任助教
2025 年 3 月 25 日
テーマ：廃棄物特化 AI エンジン” RaptorVISION” のご紹介
講 師：原田 朗男 殿 株式会社 PFU 事業開発本部 次世代事業開発室
RAPTOR 事業開発部 商品開発課
- ② 新たな環境ビジネス創出に関する施設調査
- 2024年6月4日
日立造船株式会社 A. I/TEC
(廃棄物焼却施設等の遠隔監視・運転支援及びIoT/ビッグデータ、AI開発、
イノベーション推進拠点での取組)
- 2024年6月11日
東京都下水道局砂町水再生センター
(下水汚泥からのリン回収実証施設)
- 2024年6月18日
鹿児島市南部清掃工場)
(バイオガス施設及び高効率発電施設)
- 2024年6月19日
霧島酒造株式会社 (宮崎県都城市)
(焼酎粕リサイクルプラント)
- 2024年7月12日
岐阜市北部プラント
(下水汚泥焼却灰からのりん回収及び肥料原料製造施設)
- 2024年7月12日
ごうどバイオマス発電所
(下水汚泥焼却灰からのりん回収及び肥料原料製造施設)
- 2024年7月26日
UR都市機構 新多聞団地
(団地の空室を活用した完全閉鎖循環方式の陸上養殖実証施設)
- 2024年7月26日
株式会社ジオノーツ 岩屋陸上養殖ラボ
(オニテナガエビの陸上養殖及び水耕栽培の研究への取組)
- 2024年9月18日
地球の恵みファーム・松本
(地域の未利用資源である木質バイオマスや食品廃棄物を用いた、地産地消

エネルギーによる資源循環モデル)

2024年10月4日

国立研究開発法人 理化学研究所 染谷薄膜素子研究室
(超薄型有機太陽電池を用いたマダガスカルゴキブリのサイボーグ昆虫化研究)

2024年10月15日

知多南部広域環境センター
(自動燃焼制御搭載の焼却炉)

2024年10月15日

知多e-メタン製造実証施設
(バイオガス由来のCO₂を活用したe-メタン製造実証施設)

2024年10月30日

オブテックス株式会社
(センサ・IoT機器企業による社内DXを含む企業変革及び製品DXの取組)

2024年10月30日

兵神装備株式会社 滋賀事業所 及び プロダクトスクエア
(製造工場におけるDXの取組)

2024年10月31日

石油資源開発株式会社 勇払プラント 及び
出光興産株式会社 北海道製油所
(苫小牧地域におけるCCUS等カーボンニュートラルへの取組)

2024年11月1日

苫小牧市役所 及び 日本CCS調査株式会社 苫小牧CCS実証試験センター
(苫小牧地域における二酸化炭素回収・有効利用・貯留 (CCUS) への取組)

2024年11月6日

岩手中部クリーンセンター
(遠隔監視・運転支援システムを活用したごみ焼却炉の長期安定化・省力化、
ピットクレーン高度自動運転システム実証)

2024年11月7日

岩手地熱株式会社 松尾八幡平地熱発電所
(地熱発電所)

2024年11月7日

株式会社八幡平スマートファーム
(地熱水及びIoTを活用したバジル栽培)

2024年12月11日

UBE株式会社 宇部事業所
(コンビナートにおけるカーボンニュートラルへの取組)

2025年2月13日

伊勢化学工業株式会社 白里工場
(かん水からのヨウ素製造工程)

2025年2月19日

美濃加茂バイオマス発電所
(木質バイオマス発電及び早生樹の実証試験)

2025年3月27日

ENEOS株式会社 中央技術研究所
(DAC実証設備)

ウ. 素材系資源循環に関する情報収集・発信

サーキュラーエコノミー及び廃プラスチック資源循環に関する政策動向、自動車

産業における再生材活用への取組み、家電及び太陽光発電パネル、ペットボトルのリサイクル、焼却灰からの有用金属回収の取組みについて、動静脈産業や政府などから情報収集を行った。

① 講演会

2024年7月24日

テーマ：第六次環境基本計画（2024年5月21日閣議決定）の概要

講師：大倉 紀彰 殿 環境省 大臣官房 環境影響評価課長 兼
総合政策課政策調整官

2024年11月21日

テーマ：成長志向型の資源自律経済の確立に向けた取組について

講師：小川ゆめ子 殿 経済産業省 GXグループ
資源循環経済課 課長補佐
(環境ビジネス委員会との共催)

2025年2月4日

テーマ：再生材活用促進に向けた自工会の取組について

ー2050年長期ビジョンと中長期ロードマップ（含む自主目標値）ー
講師：嶋村 高士 殿 一般社団法人日本自動車工業会
環境技術政策委員会
リサイクル・廃棄物部会長

2025年3月3日

テーマ：プラスチック資源循環に関する政策動向

講師：朽網 道德 殿 環境省 環境再生・資源循環局 総務課
容器包装・プラスチック資源循環室 室長補佐

2025年3月3日

テーマ：サーキュラーエコノミーの最新動向

～欧州におけるデジタルプロダクトパスポート（DPP）・
デジタルマテリアルパスポート（DMP）をめぐる動きなど～
講師：喜多川和典 殿 公益財団法人日本生産性本部
コンサルティング部
エコ・マネジメントセンター長
(環境ビジネス委員会との共催)

2025年3月3日

テーマ：自治体焼却灰からの金銀滓回収ビジネスの可能性と将来展望

講師：柴田 京平 殿 株式会社エンビプロ・ホールディングス
環境事業推進部 部長

② 施設調査

2024年10月23日

平林金属株式会社 リサイクルファーム御津第二工場
(家電リサイクル及び太陽光発電パネルのリサイクル施設)

2024年10月23日

株式会社サーキュラーペット
(ペットボトルリサイクル施設)

エ. 2040年における環境装置に関する調査研究

我が国の労働人口が8割減少するとされる、2040年の社会において予測されている事象について情報収集を行った。

オ. エコスラグの標準化並びに利用普及の推進

廃棄物溶融施設で生産される溶融固化物（エコスラグ）の利用促進を目的に、エコスラグの標準化及び利用普及に関する活動を行った。

a. 標準化の推進

- ① JIS A 5031「コンクリート用溶融スラグ骨材」及びJIS A 5032「道路用溶融スラグ骨材」について、改正に向けた活動を開始した。
- ② スラグ類の環境安全品質について、鉄鋼スラグ、非鉄スラグ及び石炭ガス化スラグの所管団体と共に、日本コンクリート工学会への委託研究を実施した。
- ③ JIS A 5308「レディーミクストコンクリート」、JIS A 5406「建築用コンクリートブロック」において、溶融スラグ使用に関する規定を追加するため、各原案作成団体への働きかけ及び交流を実施した。

b. 利用普及の推進

- ① 「エコスラグ有効利用の現状とデータ集（2023年度版）」を2024年5月に発行した。
- ② エコスラグに関する調査
焼却溶融施設の調査を行うと共に、スラグ有効利用等の意見交換を行った。
・上伊那クリーンセンター（長野県、2024年6月）
- ③ 6か所の地方整備局において、リサイクルポート推進協議会主催の産業副産物等利用促進協議会に参加し、生産及び利用状況について説明を行い、利用先の開拓を図った。
- ④ 自治体に対するスラグ利用普及支援
 - i) 自治体連絡会及び施設見学会の開催
2024年10月に産官学の情報交換・共有及び施設見学を行った。
 - ii) 「自治体通信」の発行
「自治体通信」を2025年3月に発行し、有効利用の情報共有を行った。

(3) 環境技術情報の発信

会員企業の環境技術や装置・機器に関する情報を系統的に取りまとめ、ウェブサイト上で広く提供した。なお、情報を取りまとめるに当たり、技術や装置・機器の分類について見直しを行った。

(4) シンポジウム、講演会及び施設調査等の実施

ア. 環境関連施策及び環境産業の動向に関する講演会

a. 2024年4月11日

テーマ：GX実現に向けた「分野別投資戦略」について

講 師：荒井 次郎 殿 経済産業省 産業技術環境局 GX投資促進室
室長補佐

b. 2025年2月18日

テーマ：サイバーセキュリティの動向と製造業の取るべき対策

講 師：鎌田光一郎 殿 Librus株式会社 代表取締役
翁 駿暁 殿 Librus株式会社 取締役COO

イ. 環境関連施設調査

a. 2024年11月14日

合同会社境港エネルギーパワー 境港バイオマス発電所
(パーム椰子種殻を主としたバイオマス発電)

b. 2024年11月15日

三光株式会社 潮見コンビナート
(廃棄物の再資源化及び熱回収利用)

c. 2025年1月17日

浜松市天竜清掃工場「天竜エコテラス」
(最新のシャフト炉式ガス化溶融炉及び破砕セクター)

(5) 関係行政機関及び関連団体への協力

ア. 経済産業省への協力

3R推進協議会企画運営委員会に委員を派遣した。

イ. 環境省への協力

環境技術実証事業運営委員会に委員を派遣した。

ウ. 優良環境装置協議会への協力

優良環境装置協議会の実施する各種事業に協力した。

エ. 関連団体への協力

一般社団法人産業環境管理協会、一般社団法人廃棄物資源循環学会、公益社団法人日本下水道協会、一般社団法人日本能率協会等が実施した事業に協力した。

5. タンク部会

(1) 役員改選

2024年7月11日の部会総会において、次のとおり選任した。

部会長：石井 宏明 株式会社石井鐵工所 代表取締役社長
経営企画本部長 (新任)

副部会長：田中 寛海 トーヨーカネツ株式会社 常務執行役員
次世代エネルギー開発事業本部長 (新任)

幹事長：大山 芳史 株式会社石井鐵工所 鉄構事業本部 営業部
部長 (国内担当) (新任)

政策分科会長：山田 彰彦 月島ホールディングス株式会社 常務執行役員
R&D センター 品質保証安全管理部門担当 (新任)

技術分科会長：谷内 恒平 レイズネクスト株式会社 タンク本部
タンク設計部 部長 (新任)

(2) 統計調査の実施

機種別の受注台数の統計調査を行い、産業動向の調査を行った。

(3) 標準化の推進

ア. JIS B 8501 (鋼製石油貯槽の構造) とこれらに関する最新の API (米国石油協会) 規格との比較調査を行った。

イ. タンク部会で作成したタンク製造時の検査記録用紙の改正作業の準備として、各社で使用している検査記録用紙の比較を行った。

(4) 調査研究の実施

代替エネルギー関係 (燃料アンモニア、液体水素、メタネーションなど) の技術動向、及びタンク関連の災害対応技術及び関連法規等について情報収集を行った。

(5) 施設調査の実施

2024年11月20日に佐賀市清掃工場を訪問し、二酸化炭素分離回収設備を視察した。

(6) 講演会の実施

2024年7月11日に講演会を次のとおり開催した。

テーマ：CCS 事業法について

講 師：渡辺 遥 殿 経済産業省 資源エネルギー庁
資源・燃料部 燃料環境適合利用推進課 CCS 政策室
室長補佐

(7) 部会間の交流

2025 年 2 月 18 日にタンク部会/ボイラ・原動機部会 合同情報交換会を開催した。

(8) 関係行政機関及び関連団体への協力

公益社団法人石油学会の設備維持規格委員会（屋外タンク）に委員を派遣し、調査・検討に協力した。

6. プラスチック機械部会

(1) 役員改選

2024 年 5 月 31 日付けで次のとおり選任した。

部会長 ：黒岩 秀樹 住友重機械工業株式会社
プラスチック機械事業部 事業部長（新任）

(2) 統計調査の実施と分析

ア. 関連機械に関する統計調査を行い、産業動向を分析把握した。

イ. 射出成形機、押出成形機、ブロー成形機の 3 機種について、主要ユーザ業界及び海外主要国の市場動向を調査し、「プラスチック機械産業の市場動向調査報告書」を作成し、公表した。

(3) 標準化の推進

ア. ISO/TC270（プラスチック加工機械及びゴム加工機械）の国内審議団体として、国際回答原案の作成及び国際会議への対応を協議した。

また、公益財団法人 JKA「2024 年度プラスチック・ゴム加工機械の国際競争力に資する標準化推進補助事業」を活用して、次の ISO/TC270 国際会議に参加した。

a. 2024 年 4 月 9 日 ISO/TC270/WG2（押出機）AHG 第 10 回国際会議（オンライン会議）

b. 2024 年 4 月 23 日 ISO/TC270/WG2（押出機）AHG 第 11 回国際会議（オンライン会議）

c. 2024 年 6 月 18～20 日 ISO/TC270/WG2（押出機）第 6 回国際会議（アメリカ／ワシントン DC）

d. 2024 年 6 月 21 日 ISO/TC270 第 10 回総会（アメリカ／ワシントン DC）

e. 2024 年 7 月 9 日 ISO/TC270/WG2（押出機）4.5 項検討 AHG 第 1 回国際会議（オンライン会議）

f. 2024 年 7 月 16 日 ISO/TC270/WG2（押出機）4.5 項検討 AHG 第 2 回国際会議（オンライン会議）

g. 2024 年 9 月 27 日 ISO/TC270/WG2（押出機）規格案検討国際会議（オンライン会議）

h. 2024 年 11 月 18～21 日 ISO/TC270/WG2（押出機）第 7 回国際会議（中国／大連）

i. 2025 年 3 月 4～6 日 ISO/TC270/WG2（押出機）第 8 回国際会議（ドイツ／フランクフルト）

イ. JIS B 8650（プラスチック加工機械－用語）の改正について検討した。

ウ. 射出成形機のエネルギー消費量の測定方法について検討した。

エ. ISO 20430:2020（プラスチック及びゴム機械－射出成形機－安全要求事項）の改正必要性について検討した。

オ. JIS B 6711:2021（プラスチック加工機械及びゴム加工機械－射出成形機－安全要求事項）の普及に伴う JIMS K 1001:2015（ゴム及びプラスチック機械－横型射出成形機－安全通則）及び JIMS K 1002:2015（ゴム及びプラスチック機械－縦型射出成形機－安全通則）の廃止について検討を行い、これらを廃止すると共に安全通則マークの運用基準も変更した。

（４）機械安全の推進

ア. インドや台湾における設備・電気機器に対する安全規則の変更など、安全法令・規格に係る海外の動きについて調査等を行い、対応を検討した。

イ. 射出成形機を使用する上での注意事項について検討を行った。

（５）関連情報収集等調査の実施

ア. プラスチック機械に関する米国、中国、及び欧州の特許情報について調査及び検討を行った。

イ. 国内外で開催されたプラスチック機械及び関連製品の展示会について概要を調査した。

ウ. プラスチック成形機の省エネ・生産性・安全性の向上、働き方改革など諸課題への対応として設備更新を検討するためのパンフレットを作成した。

（６）国際交流の推進

欧州プラスチック機械工業会（EUROMAP）及び米国プラスチック産業協会（PLASTICS）と統計の交換を実施した。

（７）講演会、施設調査及び研修会等の実施

次のテーマで講演会を実施した。

ア. 2024 年 7 月 9 日

テーマ：製造 DX 実現に向けたデジタルマニュファクチャリング技術紹介

講師：吉本 康浩 殿 三菱電機株式会社 名古屋製作所 開発部

規格標準化推進グループ 専任

（８）関係行政機関及び関連団体等との交流

経済産業省及び一般社団法人日本プラスチック機械工業会と交流を行った。

7. 風水力機械部会

（１）統計調査の実施と分析

関連機械に関する生産等の統計調査を行い、産業動向の分析を行った。

（２）標準化の推進

ア. ISO/TC115（ポンプ）の審議事項への回答及び改正案への投票に対応した。

イ. ISO/TC117（送風機）及び ISO/TC118（圧縮機）に関する通知内容を確認・検討した。

ウ. JIS B 8341（容積形圧縮機－試験及び検査方法）の改正原案を作成し、一般財団法人日本規格協会に提出した。

(3) 機械安全の推進

- ア. 空調用送風機についてのリスクアセスメント資料の作成作業を継続した。
- イ. メカニカルシールの損傷事例とその原因や対策について解説した冊子である「メカニカルシールの損傷例と対策」の改訂作業を継続した。
- ウ. 汎用ポンプに関する FAQ の作成作業を継続した。
- エ. 水中ポンプの維持管理について説明した資料である「設備用水中ポンプ 維持管理のススメ」を作成し、工業会ホームページで公開した。

(4) 風水力機械関連の情報提供

- ア. 高効率モータ、ポンプ、送風機等に関する最新情報を提供した。
- イ. ポンプ、送風機等に関する最新情報をメールマガジン等で提供した。
- ウ. ポンプ、送風機、圧縮機関連の JIS に関する外部からの技術的な問い合わせに対応した。
- エ. ロータリ・ブロワの紹介動画を作成し、工業会ホームページで公開した。

(5) カーボンニュートラル政策への対応検討

- 政府が推進するカーボンニュートラル政策に対応していくため、代替燃料（水素、アンモニア）及び原子力発電に関連する以下の施設調査を実施した。
 - 日本原子力研究開発機構 高速増殖原型炉もんじゅ（2024 年 11 月 7 日）
 - 株式会社 JERA 碧南火力発電所（2024 年 11 月 21 日）
 - 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 大洗原子力工学研究所（2024 年 11 月 28 日）

(6) 技術セミナー・講演会等の開催

- 次の技術セミナー等を開催した。
 - ア. ポンプ技術者連盟 技術セミナー（2024 年 7 月 9 日）
 - テーマ：プレス（塑性）と溶接について
 - 講 師：下川 賢二 殿 株式会社パパス 営業部 部長
 - テーマ：溶射と表面改質技術について
 - 講 師：水津 竜夫 殿 トーカロ株式会社 執行役員 東京工場長
 - イ. メカニカルシール講習会（2024 年 7 月 19 日）
 - テーマ：メカニカルシールの基礎
 - 講 師：梶野 正晴 殿 株式会社西島製作所 ポンプ製造部
メカニカルシール課 課長
 - ウ. 送風機技術者連盟 技術セミナー（2024 年 9 月 18 日）
 - テーマ：表面処理 コーティング技術について
 - 講 師：平原 真吾 殿 関西ポリマー株式会社 代表取締役社長
 - テーマ：FEM と強度評価について
 - 講 師：服部 敏雄 殿 岐阜大学 名誉教授
 - エ. 風水力機械部会 講演会（2024 年 11 月 18 日）
 - テーマ：栗本鐵工所の女性活躍推進
 - 講 師：周藤 雅美 殿 株式会社栗本鐵工所 人材開発部
人材開発グループ長
 - オ. プロセス用圧縮機委員会 講演会（2025 年 2 月 14 日）
 - テーマ：SAF の製造技術と課題及び課題解決への新提案
 - 講 師：神原 信志 殿 岐阜大学 化学・生命工学科 教授
 - カ. メカニカルシール講習会（2025 年 2 月 28 日）

テーマ：メカニカルシールの取り扱いと運転保守

講師：戎 篤志 殿 日本ジョン・クレーン株式会社 エンジニアリング部
EU Engineering 課 課長

(7) 海外施設調査の実施

2025年2月13日～16日に送風機技術者連盟がベトナム・ホーチミン市へ視察団を派遣し、以下の施設を見学した。

TSURUMI PUMP VIET NAM CO., LTD. (各種水中ポンプの製造)

KYOWA KAKO VIETNAM CO., LTD. (FRP製送風機、スクラバー等の製造)

(8) 関係省庁及び関連団体への協力

ア. 国土交通省の要請に応じ、「公共建築工事標準仕様書 令和7年版」の改訂に協力した。

イ. 一般社団法人公共建築協会の要請に応じ、「機械設備工事監理指針 令和7年版」の改訂に協力した。

8. 運搬機械部会

(1) 役員改選

2024年7月10日の部会総会において、次のとおり選任した。

部会長 茂垣 康弘 株式会社IHI 顧問
エグゼクティブ・フェロー(再任)

副部会長 榎藤 卓也 株式会社ダイフク 常務執行役員 本部長 (再任)

副部会長 大熊 謙司 株式会社キトー 執行役員
国内営業本部長 (再任)

(2) 統計調査の実施と分析

関連機械に関する統計調査を行い、産業動向を分析把握した。

(3) 標準化の推進

ア. JIS規格への対応

a. JIS B 8803 (ベルトコンベヤ用ローラ)、JIS B 8941 (立体自動倉庫システム - 用語)、JIS B 8945 (シャトル台車式自動倉庫システムー設計通則) の原案を作成した。

b. JIS B 8825 (仕分けコンベヤ) の改正案を検討した。

c. JIS B 0148 (巻上機ー用語)、JIS B 1168 (アイボルト)、JIS B 2803 (フック)、JIS B 8802 (チェンブロック)、JIS B 8805 (ゴムベルトコンベヤの計算式)、JIS B 8806 (クレーン用鋳鋼製車輪及び鍛鋼製車輪)、JIS B 8812 (チェンブロック用リンクチェーン)、JIS B 8814 (ベルトコンベヤ用プーリ)、JIS B 8815 (電気チェンブロック)、JIS B 8816 (巻上用チェーンスリング) の改正について検討した。

d. 立体自動倉庫システムー設計通則 (ケース編) について、JIS規格化について検討した。

イ. ISO・IEC等国際規格への対応

a. ISO/TC111 (丸鋼製リンクチェーン、チェーンスリング、構成要素部品及び付属品) 及び TC111/SC3 (構成要素部品及び付属品) の議長を引き受けると共に、国際

幹事国として TC 及び SC の運営等を行った。

- b. ISO/TC111 国内審議団体として、チェーンの靱性評価方法に関する国際回答原案の作成及び国際会議への対応を行った。

(4) 機械安全の推進

- ア. 「大規模倉庫における防火シャッター降下部のコンベヤに関するガイドライン」の改訂版作成について検討した。
- イ. 「ラック式倉庫のスプリンクラー設備の解説書」について見直しを引き続き検討した。
- ウ. 「立体自動倉庫 工事安全基準」の改訂版を引き続き作成した。
- エ. 立体自動倉庫の柵外からの操作についての指針作成を引き続き検討した。
- オ. 製品安全ラベルに関するガイドライン作成を引き続き検討した。
- カ. 物流システム機器ハンドブックについての改訂版作成を引き続き検討した。

(5) 国内外の関連調査の実施

- ア. バルクコンベヤの歴史（技術の変遷等）について、引き続き調査した。
- イ. アジア地域等に調査団を派遣し需要動向等の調査を実施する予定であったが、調整がつかず中止とした。

(6) 展示会等の開催の推進

- 2024年9月10日～13日開催の「第16回 国際物流総合展」（東京国際展示場）を共催した。

(7) 講演会及び研修会等の実施

- ア. 講演会 2024年7月10日
テーマ：「ディープラーニングシェアNo.1 のコグネックスが提供する製造・物流業界向け画像処理ソリューション」
講 師：武田 智彦 殿 コグネックス株式会社 物流事業部 事業部長
- イ. 研修会
 - a. 2024年4月17日
石川県小松市、「ジェイ・バス株式会社」を訪問し、観光バスの製造ライン（ボディ制作、電着塗装、ボディとシャシの結合、艀装組立、等）を視察した。
 - b. 2024年5月15日
山梨県中巨摩郡、「株式会社キトー 山梨工場」を訪問し、チェーン、電動チェーンブロック等の生産工程を視察した。
 - c. 2024年8月30日
青森県弘前市、「JA つがる弘前 河東地区りんご施設」を訪問し、選果機（大きさや重さ、形、色合いなど）による、りんご選別の工程を視察した。
 - d. 2024年10月18日
秋田県能代市、「JAXA 能代ロケット実験場」を訪問し、液体水素を燃料とする燃焼試験施設等の視察をした。
 - e. 2024年10月30日
群馬県館林市、「アサヒ飲料 群馬工場」を訪問し、カルピス製造工程解説を受けると共に製造ラインの視察をした。
 - f. 2024年11月15日
高知県高知市、「四国ガス株式会社 高知工場」を訪問し、LNG 設備（LNG 受入設備、LNG 貯槽等）を視察した。
 - g. 2024年12月6日

鹿児島県指宿市、「九電みらいエナジー株式会社 山川発電所」を訪問し、蒸気と熱水を取り出す生産井、蒸気タービン・発電機、冷却塔等を視察した。

h. 2025年2月27日

静岡県伊豆市、「クリーンセンターいず」を訪問し、可燃ごみを焼却処理する行程を視察した。

(8) 関係行政機関及び関連団体等との交流

経済産業省、国土交通省、厚生労働省及び一般財団法人日本規格協会、一般社団法人日本電機工業会等関連団体との交流を行った。

9. 動力伝導装置部会

(1) 役員改選

2025年2月1日付けで次のとおり選任した。

部会長：三輪 晃久 住友重機械ギヤボックス株式会社 代表取締役社長（新任）

(2) 統計調査の実施と分析

関連機械に関する統計調査を行い、産業動向を分析把握した。

(3) 関連情報収集等調査の実施

グリーン／CSR／サステナブル調達の現状、化学物質含有調査への対応状況等について情報収集、調査等を行った。

(4) 講演会、施設調査及び研修会等の実施

ア. 研修会

a. 2024年11月5日

ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社長崎テクノロジーセンター（長崎県諫早市）を訪問し、CMOS イメージセンサーの製造工場を見学すると共に、市場動向・生産設備・新技術について意見交換を行った。

(5) 関係行政機関及び関連団体等との交流

経済産業省との交流を行った。

10. 製鉄機械部会

(1) 役員改選

2024年8月7日の部会総会において、次のとおり選任した。

部会長：若原 啓司 スチールプランテック株式会社 代表取締役社長（再任）

副部会長：吉崎 秀史 Primetals Technologies Japan株式会社

執行役員 営業統括部長 兼 東京支社長（新任）

(2) 統計調査の実施と分析

関連機械に関する統計調査を行い、産業動向を分析把握した。

(3) 関連情報収集等調査の実施

- ア. 国内外の市場動向について情報収集、調査等を行った。
- イ. 脱炭素・カーボンニュートラル技術、物流・建設工事の2024年問題等について情報収集、調査等を実施した。

(4) 講演会、施設調査及び研修会等の実施

ア. 講演会

a. 2024年8月7日

テーマ：「物流の2024年問題」等への対応について

講師：飯島 響 殿 経済産業省 商務・サービスグループ
消費・流通政策課 物流企画室 係長

イ. 研修会

a. 2024年11月22日

七ツ島バイオマスパワー合同会社（鹿児島県鹿児島市）を訪問し、メガソーラー発電所及びバイオマス発電所を見学すると共に、現場での取り組みや課題について意見交換を行った。

(5) 関係行政機関及び関連団体等との交流

経済産業省及び一般社団法人日本工業炉協会会員企業との交流を行った。

11. 業務用洗濯機部会

(1) 役員改選

2024年5月15日の部会総会において、次のとおり選任した。

部会長：三科 道利 東京洗染機械製作所株式会社 代表取締役社長（新任）

副部会長：杉本 貴広 株式会社アサヒ製作所 代表取締役社長（新任）

(2) 統計調査の実施と分析

機種別、容量別の出荷台数の統計調査を毎月行い、産業動向の把握を行った。

(3) 調査研究の実施

ア. 環境、安全、衛生、省力化及び省エネルギー対策技術について最新情報を収集し、対応策を検討した。

a. 業務用洗濯機械に関する海外安全規格（ISO規格、CE規格）を調査した。業務用洗濯機に関しては、ISOの関連規格が整備されており、リストにまとめた。

b. ISO 10472シリーズ（業務用洗濯機械の安全規程）につき、調査内容を深堀するため和訳に着手した。

イ. リネンサプライ工場のCO₂排出量削減／省エネ削減量について検討を行った。

一般社団法人環境創成イニシアチブ（SII）にヒアリングを行い、業務用洗濯機械の省エネ生産設備としての補助制度について意見交換を実施し、設備カテゴリ登録を検討するため業務用洗濯機械の定義、分類、区分を整理した。

ウ. 耐用年数の短縮について、関係団体（一般社団法人日本病院寝具協会、一般社団法人リネンサプライ協会）に継続して働きを行った。

(4) 関連分野の動向調査

国内、海外市場の動向を調査し、各社が独自調査した展示会情報（上海展示会など）から市場動向、技術動向を共有した。

(5) 施設調査の実施

関連分野の最新技術動向の把握のため施設調査は未実施。

(6) 海外調査の実施

業務用洗濯機械の海外展示会TexCare2024 (Frankfurt: ドイツ)に全日本クリーニング機械連合会と合同で調査を実施した。欧州では自動化システム技術が進んでおり、新興である中国メーカーの台頭が目立った展示会であった。

(7) 関連団体等との協力

ア. 一般社団法人日本病院寝具協会、一般社団法人日本リネン協会へ理事を派遣し、ユーザ団体の動向調査及び意見交換を行った。

イ. 日本クリーニング用洗剤同業会との情報交換を行った。

ウ. その他、日本ダイアパー事業振興会主催のダイアパー技術研修会に「連洗機内の衛生管理について 機内の消毒・洗浄の方法・機能システム」について、当部会より3人の委員を講師として派遣した。

12. エンジニアリング部会

(1) 調査研究の実施

水素検討委員会において、各社のカーボンニュートラル関係の取り組みについて、情報交換を行った。

(2) 施設調査の実施

海外査察調査開催に向けた検討を行った。

(3) 講演会の実施

2025年2月19日に次のとおり開催した。

テーマ：「生成AI技術を巡る国内外の動きやその活用の重要性などについて」

講演者：杉之尾大介 殿 経済産業省 商務情報政策局 情報産業課

ソフトウェア・情報サービス戦略室 課長補佐

(4) PCI/LF 委員会への協力

2005年度よりPCI（プラントコストインデックス）/LF（ロケーションファクター）委員会（日本機械輸出組合主催）の調査研究に参加し、2024年度版のPCI（プラントコストインデックス）/LF（ロケーションファクター）報告書の作成に協力した。

Ⅲ 委員会関係

1. 政策委員会

(1) 委員会

2024年度は8回開催し、当工業会の事業運営事項について企画・立案・審議すると共に、法務問題や税制のあり方等について審議し、理事会等へ上程した。

なお、開催状況は次のとおり。

ア. 第 548 回 (2024 年 4 月 17 日)

a. 講演

テーマ：責任あるサプライチェーンにおける人権尊重
～「ビジネスと人権」を巡る国内外の動向～

講 師：折居 直 殿 経済産業省 大臣官房 ビジネス・人権政策調整室長

b. 2023 年度事業報告 (案)

c. 2023 年度決算報告 (案)

d. 決議 (案)

e. 2024 年度産業機械工業功績者表彰候補者 (案)

イ. 第 549 回 (2024 年 6 月 19 日)

a. 講演

テーマ：我が国の鉱物資源政策と今後の方向性

講 師：有賀 大輔 殿 経済産業省 資源エネルギー庁 資源・燃料部
鉱物資源課 課長補佐

ウ. 第 550 回 (2024 年 7 月 17 日)

a. 講演

テーマ：通商白書 2024

講 師：三好 将之 殿 経済産業省 通商政策局 企画調査室 室長補佐

エ. 第 551 回 (2024 年 9 月 10 日)

a. 令和 7 年度税制改正要望 (案)

オ. 第 552 回 (2024 年 10 月 16 日)

a. 講演

テーマ：GX と独禁法に関する課題と対応

講 師：池田 陽子 殿 経済産業省 経済産業政策局 競争環境整備室長

b. 関西大会における提言 (案)

c. カーボンニュートラル・水素・アンモニアの取組みに関する調査について

カ. 第 553 回 (2024 年 12 月 18 日)

a. 講演

テーマ：労働者不足に対応する CPS を基盤とした IoT、AI、ロボット活用

講 師：谷川 民生 殿 国立研究開発法人産業技術総合研究所
情報・人間工学領域 インダストリアル
CPS 研究センター 研究センター長

b. 「環境活動基本計画」フォローアップ調査実施報告

キ. 第 554 回 (2025 年 2 月 19 日)

a. 講演

テーマ：グローバルサウス諸国との連携強化

講 師：吉川 尚史 殿 経済産業省 通商政策局 貿易振興課長

- b. 2025 年度政策委員会事業計画（案）
- c. 産機工 新しい取り組みについて

ク. 第 555 回（2025 年 3 月 19 日）

a. 講演

テーマ：産業界のサイバーセキュリティ向上に向けた経済産業省の政策対応について

講 師：村瀬 光 殿 経済産業省 商務情報政策局
サイバーセキュリティ課 課長補佐

- b. 2025 年度産業機械の受注見通し（案）
- c. 2025 年度事業計画（案）
- d. 2025 年度収支予算（案）

（3）税制小委員会

2025年度税制改正にあたり、会員からの要望・意見を集約、検討して、政策委員会に上程した。

2. 労務委員会

（1）委員会

雇用、賃金、関係法令等の労働情勢を確認し、労使協調を基盤とした労務対策の研究及び推進を図ることを目的に、2024 年度は次のとおり 4 回開催した。

ア. 2024 年 7 月度委員会（2024 年 7 月 30 日）

- a. 2024 年度賃金・夏季賞与交渉状況
- b. 女性活躍にかかる各社の取り組み
- c. 時短の状況と本年度の目標等
- d. 管理職の昇格と人事制度
- e. 人的資本経営に向けた取り組み（経営指標と連動する人的情報指標のモニタリングと人事施策への取り組み）
- f. 役員の選任
役員改選期に伴い次のとおり選任した。

委員長：高僧 英樹 株式会社栗本鐵工所 東京支社 総務部長（再任）

イ. 2024 年 10 月度委員会（2024 年 10 月 31 日）

- a. 2024 年度 年末賞与交渉状況
- b. 2025 年度 新規採用状況
- c. 地域限定勤務制度
- d. 単身赴任への対応
- e. 育児休暇取得者への対応
- f. （海外危険区域への）赴任者に対する環境整備
- g. 私傷病社員の欠勤から休職、退職までの各社の制度
- h. 健康経営の取り組み状況
- i. 「企業等の奨学金返還支援（代理返還）制度」の活用

ウ. 2024 年 12 月度委員会（2024 年 12 月 4 日）

- a. 2024 年度 年末賞与交渉状況
- b. 本社事務部門従業員数

- c. 育児休職時の就労と休職中の社員へのパソコン・携帯電話の貸与
- d. エンゲージメントサーベイや従業員満足度調査の実施の有無
- e. プライベートの飲酒運転への処分対応
- f. 賃金水準の考察
- g. タレントマネジメントシステムの活用
- h. 全国転勤不可への職掌の転換
- i. 単身赴任時の支度金支給
- j. オフィスビルへの自転車通勤
- エ. 2025 年 3 月度委員会（2025 年 3 月 12 日）
 - a. 2025 年度賃金・夏季賞与交渉状況
 - b. iDeCo や財形貯蓄制度、退職給付制度への対応
 - c. 各種諸手当について
 - d. 初任給の大幅引き上げ及び春闘の状況

（２）労働・雇用状況等の調査

労働、雇用に関する調査を行った。

- ア. 2024 年度賃金交渉状況調査
- イ. 2024 年度夏季賞与交渉状況調査
- ウ. 2024 年度年末賞与交渉状況調査
- エ. 一般社団法人日本経済団体連合会への調査協力
 - a. 2024 年度福利厚生費調査
 - b. 業種別賃金・労務厚生等調査

3. 貿易委員会

（１）産業機械貿易振興事業

- ア. ジェトロ・ウィーン及びシカゴ事務所に当工業会の担当窓口を設置し、産業機械に関する市場調査、各種情報収集、引合・斡旋及び広報活動等を実施した。
 ウィーン担当：佐藤 龍彦
 シカゴ担当：川崎 健彦
- イ. 北米、欧州地域、中近東諸国、アフリカ諸国における産業機械関連の調査を実施した。調査内容は、毎月「海外情報」に取りまとめ、会員等関係者への配布及びウェブサイトでの情報提供を行った。
- ウ. 産業機械の海外市場拡大のための市場環境及びわが国並びに関係諸外国の貿易政策等の情報収集を行い、会員企業の海外活動を支援した。

（２）産業機械の国際競争力強化に関する調査研究事業の推進

- ア. 海外市場等に関する調査
 再生可能エネルギーの導入が進み、イノベーションが盛んなことから、多くの有名なスタートアップ、ユニコーン企業が輩出されているスウェーデンの貿易、投資、産業、進出日系企業の動向等に関する調査を行った。また、欧州で初めてグリーン水素の大規模生産の取り組みが始動したイタリアにおける新エネルギーにかかる取り組み等に関する調査を行った。
- イ. 経済連携協定等に関する動向調査
 環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定（CPTPP）、インド太平洋経済枠組み（IPEF）等に関する動向について情報収集を行った。

ウ．会員の海外展開に関する情報収集

産業機械業界における海外事業の支援を図るため、会員企業の海外展開に関する情報収集を行った。

(3) グローバルサウス調査の実施

グローバルサウス諸国の盟主として注目を浴びているインド（ベンガルール、チェンナイ）において、総勢 12 名の参加によるグローバルサウス調査を実施（2025 年 2 月 3～7 日）した。

ジェトロ・ベンガルール事務所より、ベンガルールのビジネス環境及び日系企業の進出動向等についての講演を聴講すると共に意見交換を行った。

また、YASKAWA India、Honda Motorcycle&Scooter India、Wipro Kawasaki Precision Machinery、DAIKIN AIRCONDITIONING INDIA の製造工場を訪問し、当地にてビジネスを行う上での現状と課題等について、意見交換を行った。

(4) 講演会の開催

ア．2024 年 7 月 18 日

テーマ：米国大統領選について

講 師：川崎 健彦 殿 独立行政法人日本貿易振興機構 シカゴ事務所
(産機工 シカゴ駐在員)

イ．2024 年 10 月 9 日

テーマ：インドのビジネス環境と機会

講 師：深津 佑野 殿 独立行政法人日本貿易振興機構
調査部 アジア大洋州課

テーマ：ダイキンのインド事業について

講 師：小林 祐介 殿 ダイキン工業株式会社
グローバル戦略本部 企画部 担当課長

ウ．2024 年 12 月 6 日

テーマ：スウェーデンの経済と社会

～安全保障・持続可能性・イノベーションを中心に～

講 師：福島 淑彦 殿 早稲田大学 政治経済学術院 教授

エ．2025 年 3 月 25 日

テーマ：トランプ政権下での日米経済関係

講 師：班 太郎 殿 在アメリカ合衆国日本国大使館 一等書記官

(5) 関係行政機関及び関連団体への協力、連携

ア．各種調査情報を経済産業省、独立行政法人日本貿易振興機構等関連機関へ提供すると共に、産業機械産業の健全な貿易発展のための連携を図った。

イ．海外からの引合・斡旋等を行い、円滑な貿易の遂行に協力した。

4. 編集広報委員会

(1) 委員会

2024 年度は次のとおり 2 回の委員会を開催し、以下の事項について審議を行った。

ア．2024 年度第 1 回（2024 年 7 月 23 日）

ａ．月刊機関誌「産業機械」2024 年 1～6 月号の経過報告

ｂ．月刊機関誌「産業機械」2024 年 7～12 月号会員トピックス・コラムアンケート

結果

- c. 月刊機関誌「産業機械」2024年7月号特集
- d. 月刊機関誌「産業機械」2024年12月号 その他特集
- e. 月刊機関誌「産業機械」2025年の編集方針
- f. 役員の改選

役員改選期に伴い、次の通り選任した。

委員長：中山 亨 株式会社荏原製作所 執行役 CRO（再任）

副委員長：越智 崇 月島ホールディングス株式会社 広報室 室長（再任）

イ. 2024年度第2回（2024年12月5日）

- a. 月刊機関誌「産業機械」2024年7～12月号会員トピックス・コラム掲載報告
- b. 月刊機関誌「産業機械」2024年12月号その他特集の報告
- c. 月刊機関誌「産業機械」2024年12月号特別企画座談会の報告
- d. 月刊機関誌「産業機械」2025年1～6月号会員トピックス・コラムアンケート結果

（2）座談会（2024年10月18日）

ア. テーマ：産業機械業界の「人的資本経営」に向けた取り組み

出席者：余語 一喜 殿 株式会社 I H I 人事部

人財ソリューショングループ グループ長

陣川 裕子 殿 株式会社荏原製作所 人事統括部 人財戦略部長

吉川 敦士 殿 月島ホールディングス株式会社 総務人事部 副部長

木村 達也 殿 三菱重工業株式会社 HR改革推進室 室長

（3）施設見学会（2024年10月24日）

株式会社タクマ（兵庫県尼崎市）を訪問し、プラント遠隔監視・運転支援拠点「Solution Lab（ソリューション・ラボ）」の見学を行った。また、カナデビア株式会社（大阪府大阪市）を訪問し、先端情報技術センター「A.I/TEC（エイアイテック）」の見学を行った。

5. 産業機械工業規格等調査委員会

（1）2024年度第1回委員会を2024年9月5日に開催し、2024年度上期における機種別部会のISO、JIS、JIMS関連の活動状況及び関連法規、規格等への対応状況について報告及び確認を行った。

また、JIMS C-1005（直動式遠心ポンプ）の廃止を承認した。

（2）2024年度第2回委員会を2025年3月5日に開催し、2024年度下期における機種別部会のISO、JIS、JIMS関連の活動状況及び関連法規、規格等への対応状況について報告及び確認を行った。

また、JIMS K-1001（横型射出成形機—安全通則）及びK-1002（縦型射出成形機—安全通則）の廃止を承認した。

（3）委員会参加者の産業機械工業規格の国内外における現状把握と標準化に関する知識向上を目的とした講演会を2025年3月5日に開催した。

テーマ：なぜ、経営戦略上「標準化」が重要なのか？

～ルール形成による市場創出に向けて～

講演者：湯川 絢子 殿 経済産業省 イノベーション・環境局 国際標準課
課長補佐（総括）

6. 産業機械工業功績者表彰選考委員会

2024年4月9日に委員会を開催し、会員企業の役員または職員のうち産業機械工業の発展に特に貢献された功績者6名を表彰候補者として選出し、理事会（書面）（2024年4月26日）へ上程した。

7. 環境委員会

（1）委員会

ア. 第95回委員会（2024年6月28日）

2024年度定例調査（VOC大気排出実績調査、環境活動基本計画フォローアップ調査）、
「環境活動報告書2024」の内容等について審議を行った。

イ. 第96回委員会（2024年12月10日）

2024年度定例調査（VOC大気排出実績調査、環境活動基本計画フォローアップ調査）
の結果について審議を行った。

（2）ワーキンググループの活動

ア. VOC自主管理ワーキンググループ

「VOC排出実態調査」を実施し、調査結果の集計・評価を行い、当工業会のVOC自主
管理のあり方について検討した。

イ. 環境活動基本計画フォローアップワーキンググループ

「産業機械工業の環境活動基本計画」定例調査について、集計・評価等を行った。

ウ. 環境活動報告書作成ワーキンググループ

「2024年度環境活動報告書」の構成の検討、取材、報告書案の作成等を行った。

（3）内外動向の調査研究

産業機械工業における環境保全対策の動向を把握する目的から、「産業機械工業の環
境活動基本計画」2024年度定例調査及び、「VOC大気排出実績調査」2024年度調査を実施
すると共に、各集計結果を会員、関係省庁及び関連団体に報告した。

（4）関係行政機関及び関連団体への協力

ア. 経済産業省

2024年度カーボンニュートラル行動計画（低炭素社会実行計画）について、「産業
機械工業の環境活動基本計画」定例調査結果に基づき回答した。

イ. 一般社団法人日本経済団体連合会

低炭素社会実行計画・循環型社会形成自主行動計画の2024年度フォローアップ調
査について、「産業機械工業の環境活動基本計画」定例調査結果に基づき回答した。

（5）報告書等のとりまとめと情報提供

委員会活動において、「2024年環境活動報告書」を始めとする各種報告書を取りまと
め関係機関へ提出する等、情報提供に努めた。なお、「環境活動報告書」は今年度より
紙媒体から電子媒体での発行に変更した。

IV 関西支部関係

本部と緊密な連携を図り、機種別部会及び政策委員会、労務委員会を随時開催して、関係省庁はもとより関連団体と連携しつつ、次の事業を実施した。

1. ボイラ・原動機部

(1) 役員改選

役員改選期に伴い、2024年6月6日に次のとおり選任した。

部会長：金島 一俊 株式会社ヒラカワ 執行役員
カスタマーサポート本部長（新任）

副部会長：松山 豊 株式会社高尾鉄工所 取締役 営業本部
本部長（再任）

(2) 講演会の開催

2024年10月10日に次のとおり開催した。

テーマ：最近の近畿経済の動向について

講師：中島 泰子殿 経済産業省 近畿経済産業局 総務企画部
企画調査課長

(3) 施設調査の実施

ア. 2024年6月6日にトヨタ自動車北海道株式会社（北海道苫小牧市）を訪問し、ハイブリッドトランスアスクル、CVT等変速機の生産について概要説明を受けると共に生産工程を見学した。

イ. 2024年7月4日に関西電力株式会社美浜原子力PRセンター（福井県三方郡美浜町）及び美浜発電所を訪問した。美浜原子力PRセンターでは美浜発電所の概要説明を受けると共に、美浜発電所では3号機のタービン建屋、中央制御室、1号機の格納容器を見学した。

(4) 東西合同会議

2024年9月19～23日に、アラブ首長国連邦において、東西合同会議 海外視察を実施した。世界最大級のごみ焼却発電プラントであるアル・ワルサン廃棄物発電プラントを訪問し、年間190万トンの廃棄物の処理及び焼却時に発生する熱を利用して発電を行う設備を見学した。また、ジェトロ・ドバイ事務所を訪問し、意見交換を行った。

2. 化学機械部会

(1) 役員改選

役員改選期に伴い、2024年9月12日に次のとおり選任した。

部会長：小林 康眞 木村化工機株式会社 代表取締役 会長兼社長（再任）

副部会長：大田龍一郎 大同機械製造株式会社 代表取締役社長（再任）

副部会長：田淵 健治 三菱化工機株式会社 理事 大阪支社長（新任）

(2) 講演会の開催

ア. 2024年9月12日

- a. テーマ：令和7年度経済産業省関係概算要求等概要及び第10回ものづくり日本大賞

講 師：濱崎千弥喜 殿 経済産業省 近畿経済産業局 産業部
製造産業課長

- b. テーマ：独立行政法人工業所有権情報・研修館の概要説明について

講 師：大河 卓郎 殿 独立行政法人工業所有権情報・研修館
近畿統括本部 事業推進部長代理

(3) 施設調査の実施

新たな知的創造活動を促す拠点として大阪駅北地区に整備されたグランフロント大阪「ナレッジキャピタル」（大阪市）を訪問し、施設運営を担う一般社団法人ナレッジキャピタルからガイダンスを受けると共に、交流の場である「ナレッジサロン」及び産学連携プロジェクトに関わる人材・知財・情報の集積拠点である「ナレッジオフィス」等を見学した。

3. 環境装置部会

(1) 役員改選

役員改選期に伴い、2024年7月11日に次のとおり選任した。

部 会 長：佐藤 淳 株式会社クボタ 理事 水環境総合研究ユニット（再任）

副部会長：近藤 守 日立造船株式会社（現カナデビア株式会社）
執行役員 ICT 推進本部 副本部長（再任）

副部会長：井上 智裕 株式会社ササクラ 執行役員 水処理事業部長（再任）

副部会長：柴田 清 株式会社タクマ 執行役員 エンジニアリング統轄本部
設計センター長（新任）

(2) 講演会の開催

2024年7月11日に次のとおり開催した。（政策委員会と共催）

テーマ：失敗に学ぶ 一廃棄物管理における過去の教訓と未来への道筋について一

講 師：樋口壮太郎 殿 福岡大学 名誉教授

資源循環・環境制御システム研究所 客員教授

(3) 施設調査の実施

2024年8月29日に農業学習施設「クボタアグリフロント」（北海道北広島市）を訪問し、農業経営を学習するエリアや最先端の作物栽培を体感できるエリアを見学した。また、北海道電力株式会社がエネルギーサービスプロバイダ事業を実施する「エスコンフィールド HOKKAIDO」（北海道北広島市）を見学した。

4. 風水力機械部会

(1) 役員改選

役員改選期に伴い、2024年9月4日に次のとおり選任した。

部 会 長：辻本 治 株式会社鶴見製作所 代表取締役社長（再任）

副部会長：岩波 嘉信 株式会社 PILLAR 代表取締役社長（再任）

副部会長：宮先 敦 株式会社荏原風力機械 代表取締役社長（新任）

(2) 講演会の開催

2024年9月4日に次のとおり開催した。

テーマ：2025大阪・関西万博の進捗状況と見どころ

講 師：瀬戸口強一 殿 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会
広報・プロモーション局 地域・観光部 地域連携課
参事

5. 運搬機械部会巻上機委員会繊維スリング分科会

(1) 講演会の開催

2024年5月30日に次のとおり開催した。

テーマ：外為法による輸出管理と投資管理について

講 師：濱崎千弥喜 殿 経済産業省 近畿経済産業局 産業部 製造産業課
課長

(2) 施設調査の実施

10月25日に日本原子力発電株式会社敦賀原子力館（福井県敦賀市）及び敦賀発電所を訪問した。敦賀原子力館では敦賀発電所の概要説明を受けると共に、敦賀発電所では2号機の格納容器及び燃料プールを見学した。

6. 政策委員会

関西支部運営の中核として年 8 回開催し、運営幹事会で報告されている毎月の産業機械の統計関係、当工業会の活動状況、海外駐在員の近況報告や講演内容の報告の他、意見交換等を行った。

(1) 委員会

ア. 第 563 回（2024 年 4 月 25 日）

- a. 委員長の選出
- b. 2023 年度事業報告（案）及び 2023 年度決算報告（案）
- c. 決議（案）
- d. 2024 年度産業機械工業功績者表彰候補者（案）

イ. 第 564 回（2024 年 7 月 2 日）

- a. 常任幹事補充選任
- b. 部会長の選出

ウ. 第 565 回（2024 年 7 月 25 日）

- a. 常任幹事・幹事補充選任
- b. 委員長・部会長の選出

エ. 第 566 回（2024 年 9 月 30 日）

- a. 講演
テーマ：2023・2024 年度関西地域設備投資計画調査
講 師：渡会 浩紀 殿 株式会社日本政策投資銀行 関西支店
企画調査課長

- b. 委員長・部会長の選出
- c. 新入会員
- d. 令和 7 年度税制改正要望（案）

オ. 第 567 回（2024 年 10 月 30 日）

- a. 講演
テーマ：大阪・関西万博について
講 師：三浦 章豪 殿 公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会
総合戦略室長

- b. 委員長の選出

カ．第 568 回（2024 年 12 月 25 日）

a．講演

テーマ：海外展開のために今日から使える J I C A のメニュー

講 師：木村 出 殿 独立行政法人国際協力機構 関西センター所長

b．新入会員

c．「環境活動計画」フォローアップ調査実施報告

キ．第 569 回（2025 年 2 月 27 日）

a．講演

テーマ：日本企業の海外ビジネス動向と経営課題

講 師：庄 秀輝 殿 独立行政法人日本貿易振興機構 大阪本部長

b．部会長の選出

c．新入会員

ク．第 570 回（2025 年 3 月 28 日）

a．講演

テーマ：カーボンニュートラルへの蓄電池技術の進展

講 師：辰巳 国昭 殿 国立研究開発法人産業技術総合研究所
関西センター所長

b．新入会員

c．2025 年度産業機械の受注見通し（案）

d．2025 年度事業計画（案）

e．2025 年度収支予算（案）

（2）講演会

2024 年 7 月 11 日（環境装置部会との共催）

テーマ：失敗に学ぶー廃棄物管理における過去の教訓と未来への道筋についてー

講 師：樋口壮太郎 殿 福岡大学 名誉教授

資源循環・環境制御システム研究所 客員教授

7．労務委員会

労務問題は、人事評価制度、定年制、退職金、福利厚生等多岐に亘っており、これら労務対策の研究及び推進を図るため講演会、意見交換等を行った。

（1）役員改選

ア．役員改選期に伴い、2024 年 6 月 3 日に次のとおり選任した。

委 員 長：巻幡 俊文 日立造船株式会社（現カナデビア株式会社）

執行役員 業務管理本部長（再任）

副委員長：田口 幸司 日本スピンドル製造株式会社 総務部長（再任）

副委員長：小西 良雄 株式会社ダイフク 人事総務部 部長（新任）

イ．2025 年 3 月 7 日に次のとおり選任した。

副委員長：吉井 康富 株式会社鶴見製作所 執行役員 人事総務部長（新任）

（2）講演会の開催

2024 年 6 月 3 日に次のとおり開催した。

テーマ：価値観の異なる若者の定着にむけて

講 師：中森 孝文 殿 龍谷大学 政策学部 教授

（3）施設調査の実施

2024 年 11 月 28 日に大阪府警本部（大阪市）を訪問し、通信指令室、交通管制センター

等を見学すると共に大阪府警察薬物対策課による講習会を受講した。その後、大阪歴史博物館（大阪市）を訪問し、常設展示及び特別展示を見学した。

（４）意見交換会

2025年3月7日に次の事項について報告及び意見交換を行った。

ア．人材確保への対応

イ．高度人材の確保と育成

ウ．65歳以上の継続雇用の実施状況

エ．地域貢献活動の実施状況

8．新年賀詞交歓会等会員相互等の交流機会の提供

（１）関西大会懇親会

リーガロイヤルホテルにおいて2024年11月21日の関西大会終了後に開催した。

（２）新年賀詞交歓会

リーガロイヤルホテルにおいて2025年1月10日に開催した。

9．各種調査への協力

一般社団法人日本機械工業連合会大阪事務所が実施した関西団体協議会に出席し、活動方針の意見交換や施設調査等を行った。また、関西製造業における事業継続能力向上調査専門部会（日本機械工業連合会大阪事務所主催）に委員として参画し、関西製造業における事業継続能力向上調査報告書の作成に協力した。

10．その他

2025年3月3日に経済産業省近畿経済産業局と共催により、2025年度経済産業省「注目施策説明会」を会員企業向けに開催し、最新の施策情報をタイムリーに提供すると共に、施策活用のポイントを説明した。

V 共通基盤事業関係

1. 決議及び提言の取りまとめ

次の政策提言を関係省庁等に対して提出した。

- (1) 決議（定時総会2024年5月）
- (2) CN実現を指向する日本経済の成長に向けて（関西大会政策提言）〔関西大会（第609回理事会、第114回運営幹事会及び関西地区会員との合同会議）2024年11月〕

2. 統計調査の実施と統計情報の提供

次の項目について、月次調査及び集計を実施した。集計結果は、理事会での報告と会員への提供を行うと共に、関係省庁、関連団体、報道機関等に配布した。また、暦年・年度及び需要部門毎の資料整備と分析を行い、当工業会の基礎的統計資料の整備に努めた。

- (1) 産業機械受注状況
（自主統計、月次・年度上期・暦年・年度末毎、機種別・需要部門別集計）
- (2) 産業機械輸出契約状況
（自主統計、月次・年度上期・暦年・年度末毎、機種別・地域別集計）
- (3) 環境装置受注状況
（自主統計、月次・年度上期・暦年・年度末毎、機種別・需要部門別集計）
- (4) 産業機械輸出入実績
（財務省貿易統計ベース、月次毎、機種別・需要部門別集計）
- (5) 2025年度産業機械の受注見通し（2025年3月28日公表）

3. 適正取引の推進に向けた行動計画に関する取組

中小企業庁が定める業種横断的な「フォローアップ指針」を踏まえ、『「未来志向型の取引慣行に向けて」に係る自主行動計画のフォローアップ指針における調査』を2024年11月に実施した。調査結果は2024年11月に中小企業庁へ報告すると共に、会員各社と情報共有を図った。

4. 優秀環境装置表彰等表彰事業の実施

環境装置メーカー等が開発した優秀な装置の普及と技術開発の促進を目的に、1974年度

から通商産業省（現経済産業省）の後援のもと、優秀環境装置の表彰事業を実施している。賞の種類は、経済産業大臣賞、経済産業省脱炭素成長型経済構造移行推進審議官賞、資源エネルギー庁長官賞、中小企業庁長官賞、一般社団法人日本産業機械工業会会長賞であり、その他受賞装置の開発に携わった主たる開発者に対し、当工業会会長より表彰を行っている。

2024 年度（第 50 回）は、全国から 24 件の応募があり、これら装置について独創性、性能、経済性、将来性等の項目に関し書面審査、実地調査等の厳正なる審査を行い、次のとおり優秀と評価された環境装置について、2025 年 3 月 21 日に表彰式を行った。

（1）経済産業大臣賞

装置名：水噴射と圧力波を組み合わせた高効率ボイラクリーニング装置

受賞者：JFE エンジニアリング株式会社

（2）経済産業省脱炭素成長型経済構造移行推進審議官賞（旧産業技術環境局長賞）

装置名：大型磁気浮上式高速単段ターボブロワ（MAG ターボ/M55 型）

受賞者：川崎重工業株式会社

（3）資源エネルギー庁長官賞（新設）

装置名：メタネーション標準機

受賞者：株式会社 I H I

（4）中小企業庁長官賞（応募申請書受付順）

装置名：微細目固液分離スクリーン（ファインアーク®-60）

受賞者：東洋スクリーン工業株式会社

装置名：廃プラスチック油化装置（REP10000）によるケミカルリサイクルシステム

受賞者：株式会社リサイクルエナジー

（5）日本産業機械工業会会長賞（応募申請書受付順）

装置名：微滴衝突式集塵装置

受賞者：クリーン・テクノロジー株式会社

装置名：Dual Fuel バイオガス発電システム（6EY26LDF）

受賞者：ヤンマーエネルギーシステム株式会社

装置名：し尿処理過程で発生する余剰汚泥を減容する装置（ASB リアクタ）

受賞者：クボタ環境エンジニアリング株式会社

装置名：多重板型スクリュープレス汚泥脱水機（ヴァルトデュオ）

受賞者：アムコン株式会社

装置名：回転ドラムスクリーン（セルフクリーン-スイングディスクスクリーン）

受賞者：三菱化工機株式会社

装置名：ごみピット 3D システムを活用したごみクレーン A I 自動運転装置

受賞者：カナデビア株式会社

装置名：ダウンサイジング型ベルトプレス脱水機（DSBP）

受賞者：月島 JFE アクアソリューション株式会社（共同申請）
日本下水道事業団（共同申請）

装置名：ごみ炭化燃料化システム
受賞者：川崎重工業株式会社

また、経済産業大臣賞、経済産業省脱炭素成長型経済構造移行推進審議官賞、資源エネルギー庁長官賞、中小企業庁長官賞を受賞した装置の研究・開発に携った主たる開発者について、計 20 名を一般社団法人日本産業機械工業会会長が表彰した。

さらに、第 50 回の節目を迎えるにあたり、表彰された装置の普及状況等に関するフォローアップ調査（対象：第 40 回～第 44 回表彰装置）を実施し、次のとおり、表彰後に最も広く普及した装置を一般社団法人日本産業機械工業会会長が表彰した。

装置名：高効率エアレーター（空海）
受賞者：株式会社ソルエース
（※第 40 回優秀環境装置表彰・日本産業機械工業会会長賞）

装置名：フィルタレスオイルミストコレクタ（ミストイーターZ）
受賞者：ホーコス株式会社
（※第 43 回優秀環境装置表彰・日本産業機械工業会会長賞）

5. 中小企業等経営強化法の経営力向上設備等に関する税制措置への対応

中小企業等経営強化法の経営力向上設備等及び生産性向上特別措置法の先端設備等に関する税制措置について、設備メーカー（製造事業者等）からの申請に基づき、生産性向上に係る該当要件を確認し、「証明書」を発行した。

6. 月刊機関誌「産業機械」の発行と関連情報の提供

（1）月刊機関誌「産業機械」の発行

2024 年は「知能化・自律化・多様化に対応する産業機械」を、2025 年は「いのち輝く未来社会の産業機械～人と社会の共存をめざして～」を年間テーマに掲げ、会員各社の新製品・新技術の紹介を中心に、各種統計資料、当工業会の情報を編集し、発行した。

なお、特集号及び紹介号は次のとおりである。

2024 年 4 月号 (No. 882)	プラスチック機械
2024 年 5 月号 (No. 883)	環境装置
2024 年 6 月号 (No. 884)	ボイラ
2024 年 7 月号 (No. 885)	知能化・自律化・多様化に対応する日本産業機械工業会の技術と取り組み
2024 年 8 月号 (No. 886)	風水力機械①
2024 年 9 月号 (No. 887)	風水力機械②
2024 年 10 月号 (No. 888)	優秀環境装置
2024 年 11 月号 (No. 889)	化学機械・タンク

2024 年 12 月号 (No. 890) 業務用洗濯機
年間テーマを振り返って
2025 年 1 月号 (No. 891) 経済産業省 製造産業局長、会長、支部長、委員長、
部会長年頭所感
2025 年 2 月号 (No. 892) 鋁山機械・製鉄機械
2025 年 3 月号 (No. 893) 運搬機械・動力伝導装置

(2) ウェブサイトの運営及び掲載内容の検討

会員の紹介、当工業会活動内容及び各種事業の開示を目的に、ウェブサイト
(<https://www.jsim.or.jp/>) の管理・運営を行った。

Ⅵ 共通基盤活動関係

1. 総会、理事会、正副会長会議等会議の運営

(1) 定時総会

2024年5月23日、The Okura TOKYOにおいて開催し、次の議案をいずれも満場一致をもって原案のとおり承認した。

- ア. 2023年度事業報告承認の件
- イ. 2023年度決算報告承認の件
- ウ. 2024年度事業計画決定の件
- エ. 2024年度収支予算決定の件
- オ. 決議の件
- カ. 役員改選の件

(2) 臨時総会

2024年11月21日、リーガロイヤルホテル大阪において開催し、次の議案を満場一致をもって原案のとおり承認した。

- ア. 理事補充選任の件

(3) 理事会

2024年度に次の通り10回開催し、各議案について審議を行った。

- ア. 理事会（書面審議）（2024年4月26日）
 - a. 2023年度事業報告（案）及び2023年度決算報告（案）
 - b. 2024年度収支予算修正
 - c. 決議（案）
 - d. 2024年度産業機械工業功績者表彰候補者
 - e. 2024年度定時総会の招集
- イ. 第608回理事会（2024年5月23日）
 - a. 会長、副会長、支部長、専務理事及び事務局長選任
 - b. 常任幹事、幹事の選任
 - c. 2023年度下期工業会活動状況
- ウ. 理事会（書面審議）（2024年7月5日）
 - a. 常任幹事・幹事補充選任
- エ. 理事会（書面審議）（2024年7月31日）
 - a. 常任幹事・幹事補充選任
- オ. 理事会（書面審議）（2024年9月30日）
 - a. 新入会員
 - b. 令和7年度税制改正要望（案）
 - c. 2024年度臨時総会の招集
- カ. 理事会（臨時）（2024年11月21日）
 - a. 常務理事補充選任
- キ. 第609回理事会（2024年11月21日）
 - a. 幹事補充選任
 - b. 政策提言－CN実現を指向する日本経済の成長に向けて（案）
 - c. 2024年度上期工業会活動状況
- ク. 理事会（書面審議）（2024年12月26日）

- a. 新入会員
- ケ. 理事会（書面審議）（2025 年 2 月 28 日）
 - a. 新入会員
- コ. 理事会（書面審議）（2025 年 3 月 31 日）
 - a. 2025 年度事業計画（案）
 - b. 2025 年度収支予算（案）
 - c. 関連規程等の整備（案）
 - d. 新入会員

（3）運営幹事会

2024 年度に次のとおり 9 回開催し、毎月の産業機械受注状況、輸出契約状況、環境装置受注状況、海外情報、当工業会の活動状況等について報告を行った。

- ア. 第 109 回運営幹事会（2024 年 4 月 23 日）
 - a. 講演
 - テーマ：経済産業政策の新機軸
～「潮目の変化」を継続させるための「2040 年シナリオ」～
 - 講 師：菊川 人吾 殿 経済産業省 大臣官房 審議官（経済産業政策局担当）
 - b. 委員長の選出
 - c. 2023 年度事業報告（案）
 - d. 2023 年度決算報告（案）
 - e. 決議（案）
 - f. 2024 年度産業機械工業功績者表彰候補者（案）
- イ. 第 110 回運営幹事会（2024 年 6 月 27 日）
 - a. 講演
 - テーマ：水素社会の実現に向けて－水素社会推進法等－
 - 講 師：日野 由香里 殿 資源エネルギー庁
省エネルギー・新エネルギー部
水素・アンモニア課長
 - b. 常任幹事・幹事補充選任
 - c. 部会長の選出
- ウ. 第 111 回運営幹事会（2024 年 7 月 24 日）
 - a. 講演
 - テーマ：新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画 2024 年改訂版
 - 講 師：阿部 一郎 殿 内閣官房 新しい資本主義実現本部事務局 参事官
 - b. 常任幹事・幹事補充選任
 - c. 委員長・部会長の選出
- エ. 第 112 回運営幹事会（2024 年 9 月 25 日）
 - a. 講演
 - テーマ：製造業を巡る現状・課題・政策の方向性
 - 講 師：田中 一成 殿 経済産業省 製造産業局 審議官（製造産業局担当）
 - b. 委員長・部会長の選出
 - c. 新入会員
 - d. 令和 7 年度税制改正要望（案）
- オ. 第 113 回運営幹事会（2024 年 10 月 23 日）
 - a. 講演
 - テーマ：生成 AI 開発力強化に向けた取組について
 - 講 師：須賀 千鶴 殿 経済産業省 製造産業局 産業機械課長
 - b. 委員長の選出について

カ．関西大会（第 114 回運営幹事会及び関西地区会員との合同会議）
（2024 年 11 月 21 日）

- a．幹事補充選任
- b．政策提言－CN 実現を指向する日本経済の成長に向けて（案）
- c．講演
テーマ：大阪・関西万博と関西経済の未来
講 師：信谷 和重 殿 経済産業省 近畿経済産業局長

キ．第 115 回運営幹事会（2024 年 12 月 20 日）

- a．講演
テーマ：省エネルギー・新エネルギー政策について
講 師：村上 貴将 殿 経済産業省 資源エネルギー庁
省エネルギー・新エネルギー部 政策課 課長
- b．新入会員
- c．「環境活動計画」フォローアップ調査実施報告
- d．カーボンニュートラル・水素・アンモニアの取組みに関する調査
- e．環境活動報告書 2024
- f．新年賀詞交歓会開催のご案内

ク．第 116 回運営幹事会（2025 年 2 月 25 日）

- a．講演
テーマ：第 7 次エネルギー基本計画について
講 師：小高 篤志 殿 経済産業省 資源エネルギー庁 長官官房 総務課
戦略企画室 室長
- b．部会長の選出
- c．新入会員

ケ．第 117 回運営幹事会（2025 年 3 月 26 日）

- a．講演
テーマ：我が国の GX 実現に向けて
講 師：西田 光宏 殿 経済産業省 イノベーション・環境局
GX グループ
脱炭素成長型経済構造移行投資促進課 課長
- b．新入会員
- c．2025 年度産業機械の受注見通し（案）
- d．2025 年度事業計画（案）
- e．2025 年度収支予算（案）

（4）会長、副会長会議

当工業会の運営及び事業活動の円滑化を図るための基本的事項について協議を行うため、2025 年 3 月 11 日に開催し、産業機械業界の景気動向、2025 年度事業計画案、同収支予算案、その他当面の諸問題について協議、懇談を行った。

（5）会長、委員長、部会長会議

2024 年 12 月 20 日に開催し、各委員長、部会長から委員会、部会活動状況等の報告と共に、当面の課題について懇談を行った。

（6）監事監査

2023 年度の事業報告及び決算報告について、2024 年 4 月 18 日に井上監事（株式会社井上製作所）、平田監事（一般財団法人日本品質保証機構）、辻本幹事（株式会社鶴見

製作所) によって監査が行われた。

2. 新年賀詞交歓会等会員相互等の交流機会の提供

(1) 定時総会パーティ

The Okura TOKYOにおいて、2024年5月23日に定時総会、産業機械工業功績者表彰式の終了後に開催した。

(2) 新年賀詞交歓会

The Okura TOKYOにおいて2025年1月9日に開催した。来賓を代表され、経済産業省 製造産業局長 伊吹英明殿から挨拶があり、参加者一同新年の賀詞を交歓した。

3. 2024年度産業機械工業功績者の表彰

2024年5月23日の定時総会において、次のとおり表彰した(表彰順)。

上村 真一 殿	株式会社明治機械製作所	風水力機械部会
重 洋一 殿	木村化工機株式会社	化学機械部会
高比良博志 殿	株式会社鶴見製作所	風水力機械部会
秩父 薫雅 殿	株式会社神鋼環境ソリューション	環境装置部会
二瓶 清 殿	株式会社IHI	政策委員会
原田耕太郎 殿	株式会社西島製作所	関西支部 政策委員会

4. 団体生産物賠償責任保険(PL保険)の提供

2024年度国内・海外生産物賠償責任保険(PL保険)の募集を実施し、円滑な運営に努めると共に、2025年度の募集に向け、保険制度の確認等を行った。

5. 産業機械テニス大会等の福利厚生事業

(1) 第65回産業機械テニス大会

会員各社従業員の厚生事業の一環として、1960(昭和35)年から毎年開催しており、日刊工業新聞、産業経済新聞社の後援のもと、2024年9月7日に三菱重工業株式会社桜ヶ丘コート(東京都大田区)において開催した。なお、参加チームは6チームであった。

優 勝: オルガノ株式会社

準優勝: 株式会社クボタ

第3位: 三菱重工業株式会社

(2) 2024年度会長杯ゴルフ大会

会員の親睦をより一層深めることを目的として毎年2回会長杯ゴルフ大会を開催している。2024年度の優勝者は次のとおりであった。

- ア．第1回 2024年5月24日 小金井カントリー倶楽部
優 勝：加藤 孝一 殿 日機装株式会社
- イ．第2回 2024年11月22日 茨木カントリー倶楽部
優 勝：原田耕太郎 殿 株式会社西島製作所

6．勉強会の開催

2025年3月31日にCO-CREATION PARK KAWARUBAにおいて、「水素・アンモニア社会実現のための勉強会」を開催し、水素をめぐる足元の政府動向や、今後の水素・アンモニアの普及に向けた課題と取組み状況、水素・アンモニア社会に向けた規制・安全対策についての考え方等について、理解を深めた。

講 師：金子 剛 殿 株式会社ドリームインキュベータ 執行役員
講 師：岡田 直也 殿 経済産業省 大臣官房 産業保安・安全グループ
産業保安企画室長

一般社団法人 日本産業機械工業会

本 部 東京都港区芝公園3丁目5番8号
〒105-0011 (機械振興会館4階)

電 話 東京 (03) 3434-6821 番 (代)

F A X 東京 (03) 3434-4767 番

関西支部 大阪府大阪市北区西天満2丁目6番8号
〒530-0047 (堂ビル2階)

電 話 大阪 (06) 6363-2080 番 (代)

F A X 大阪 (06) 6363-3086 番
